5 学年　1 年間の学習

（ 地域の気象条件などに応じて，学習の適期を逃さないように弾力的に年間計画を作成・運営していくようにしてください。 ）

「時数」内の数字は単元配当時間　（ ）内の数字は標準配当時間
単元配当時間と標準配当時間に差がある単元は，「しらべてみよう」「やってみよう」などにその時間をあてます。

月	単元名	時数	留意点等
4	○ 学習の準備	1 (1)	・ズッキーニ，アサガオの種まきの準備 ・メダカの飼育の準備　・インゲンマメの準備
4	1 天気の変化(1)	5 (5)	・学習が天気に左右されるので，次単元「種子の発芽」と並行して進めてもよい。（気温が低いと発芽に時間がかかる。）
5	2 種子の発芽	8 (10)	・連休を考慮し発芽条件実験の準備をし，計画的に観察できるように進める。 ・発芽条件実験は，「空気の有無」と「発芽適温」の実験を並行して進める。 ・ズッキーニ（カボチャ・ヘチマ等でもよい），アサガオ，インゲンマメの種子を5月上旬ころまく。（発芽適温：ズッキーニ 25 ～ 30℃，アサガオ 20 ～ 25℃）
6	3 植物の成長	5 (6)	・成長条件実験は，「日光の有無」と「肥料の有無」の実験を並行して進める。
6	4 生命のたん生 (魚)	5 (6)	・メダカが卵からかえるまでの様子を観察する。 ◇解剖顕微鏡，双眼実体顕微鏡の使い方
7	5 花のつくりと実	7 (9)	・植物の成長に合わせ学習時期を調整する。 ・受粉実験は，午前９時ころまでに人工受粉させるとよい。 ・P.59 昆虫や風で花粉が運ばれ受粉する植物があることを必ず指導する。 ◇顕微鏡の使い方
7	○ 自由研究	1 (1)	・過去の研究作品を用意しておくとよい。
8	6 生命のたん生 (人)	5 (5)	・母体内での成長の様子は，映像や模型，その他の資料を活用する。
9	7 天気の変化(2)	3 (4)	・台風や台風災害についての画像資料や新聞記事などを集めておくとよい。
10	8 流れる水のはたらき	13 (15)	・川の観察では事前調査を行い，気象情報に注意し，危険防止や衛生面へ配慮する。 ・川の増水時の観察は危険があるので，写真やビデオを利用したり，水が引いた後に観察させる。 ・防災への意識を高めるようにする。 ・自然災害についても触れる。
11 / 12	9 電じ石のはたらき	15 (17)	・電磁石づくり ・ものづくり（電磁石を使った物） ◇電流計の使い方
1	10 もののとけ方	13 (15)	・食塩，ミョウバンを使い溶け方を比べる。 ・安全めがねの着用，やけど等安全への配慮 ◇メスシリンダーの使い方，ろ過の仕方
2 / 3	11 ふりこの運動	9 (11)	・「振れ幅」「糸の長さ」「おもりの重さ」を変える実験すべてを行う。 ・ものづくり（ふりこの動きを利用したおもちゃ） ・算数科の「平均」の学習との関連を図るようにする。
		90 (105)	

栽培・飼育・観察等
（栽培・飼育・観察等の期間については目安を示しています。）

「インターネットで調べてみよう」コンテンツ一覧

1　天気の変化（1）（P.12）
日本気象協会 (tenki.jp)
・気象衛星からの雲の写真や，アメダスによる雨量の情報などを見ることができます。

4　生命のたん生（魚）（P.45）
メダカの受精卵の変化
・卵の中のメダカが育つ様子を，受精直後から時間を縮めて見ることができます。

5　花のつくりと実（P.53）
顕微鏡の使い方
・顕微鏡の使い方を見ることができます。

6　生命のたん生（人）（P.67）
ヒトの赤ちゃんの成長
・赤ちゃんが子宮の中で成長していく様子を見ることができます。

7　天気の変化（2）（P.78）
日本気象協会 (tenki.jp)
・気象衛星からの雲の写真や，アメダスによる雨量の情報などを見ることができます。

8　流れる水のはたらき（P.94）
川原の石の様子
・川の上流，中流，下流の川原の石の形や大きさの様子を見ることができます。

ものづくりのある単元

9　電じ石のはたらき
・電じ石を使った物

11　ふりこの運動
・ふりこの動きを利用したおもちゃ

※内容の取り扱い
２種類以上の「ものづくり」を行う。

教材準備

○インゲンマメの準備
５～６月の「植物の成長」の単元において，同じくらいに成長したインゲンマメの苗を使い成長の様子を比べるので，５月上旬にインゲンマメの種子をポット等にまき，多めに準備しておく。

○ズッキーニ，アサガオの栽培
７月の「花のつくりと実」の単元において，ズッキーニとアサガオを教材として授業展開するので，５月上旬ころ種まきをして準備しておく。

「P.○」は，児童用教科書のページ数で示しています。